

2022年10月23日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

10月23日 聖日礼拝																						
前奏	招詞	ハバクク書2章20節 「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。」アーメン																				
会衆賛美	聖歌394（1～3節）	会衆賛美	主はぶどうの木（1回）	主の祈り	詩篇119篇17～24節	交読	礼拝祈祷	使徒信条	聖書朗読	出エジプト記	19章1～6節 20章1～17節	説教	共同体に与えられた律法③ 荻野泰弘牧師	会衆賛美	聖歌134（1～3節）	献金	頌栄	聖歌376	祝祷	報告	後奏	感謝祈祷

■聖歌394「ひとりの御子を」（1～3節）

- ①ひとりの御子を たまいしほどに
神はよびとを いつくしみたもう
かかるめぐみの 父をも しらで
ながく やみじに われは まよえり
- ②罪おおき ところ めぐみも まさる
主はさまよえる わがあと たずね
「かえれわが子よ かえれわが子」と
愛のみ手もて まねきたまえり
- ③くゆる心を 父はあわれみ
はしりむかえて われをば いだき
み子の血潮に 罪のけがれを
あらい きよめて すくいたまえり

■「主はぶどうの木」（※→★→※の順で歌う）

※主はぶどうの木 わたしは枝です いつも離れずに
主はぶどうの木 わたしは枝です 豊かな実を結ぶ

★みことばに留まり 愛に生きるなら
この世は知るでしょう 主の救いと 癒し

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 119 篇 17～24 節

- 17 あなたのしもべに豊かに報い 私を生かし
私があなただのみことばを守るようにしてください。
- 18 私の目を開いてください。
私が目を留（と）めるようにしてください。
あなたのみおしえのうちにある奇しいことに。
- 19 私は地では旅人です。
あなたの仰せを私に隠さないでください。
- 20 いつのときも あなたのさばきを慕い求めて
私のたましいは押しつぶされるほどです。
- 21 あなたは あなたの仰せから迷い出る高ぶる者
のろわれるべき者を おとがめになります。
- 22 私から そしりと蔑み（さげすみ）を取り去ってください。
私はあなたのさとしを守っているからです。
- 23 たとえ君主たちが座して
私に敵対して語り合っても
このしもべは あなたのおきてに思いを潜め（ひそめ）ます。
- 24 あなたのさとしこそ 私の喜び
私の助言者（じょげんしゃ）です。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 出エジプト記 19章1～6節、20章1～17節

出エジプト記 19章1～6節

- 1 エジプトの地を出たイスラエルの子らは、第三の新月の日にシナイの荒野に入った。
- 2 彼らはレフィディムを旅立って、シナイの荒野に入り、その荒野で宿営した。イスラエルはそこで、山を前に宿営した。
- 3 モーセが神のみもとに上って行くと、主が山から彼を呼んで言われた。「あなたは、こうヤコブの家に言い、イスラエルの子らに告げよ。
- 4 『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。
- 5 今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。
- 6 あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。」

出エジプト記 20章1～17節

- 1 それから神は次のすべてのことばを告げられた。
- 2 「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。
- 3 あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。
- 4 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。
- 5 それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたみの神。わたしを憎む者には父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、
- 6 わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。
- 7 あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。主は、主の名をみだりに口にする者を罰せずにはおかない。
- 8 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。
- 9 六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。

- 10 七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる寄留者も。
- 11 それは主が六日間で、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造り、七日目に休んだからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものとした。
- 12 あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。
- 13 殺してはならない。
- 14 姦淫してはならない。
- 15 盗んではならない。
- 16 あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。
- 17 あなたの隣人の家を欲してはならない。あなたの隣人の妻、男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを欲してはならない。」

■聖歌 134 「おおくのかむり」(1～3節)

- ①おおくのかむり いざささげよ こひつじは座せり 高き御座に
わがたましい うたえたかく みがわりとなりし 主なるイエスを
- ②おおくのかむり いざささげよ はじめよりありし 神なる主に
君はわれの うき悩みを つぶさに知れたもう 神にぞます
- ③おおくのかむり いざささげよ たたかいに たけき 勝利の主に
墓も よみも やぶれはてぬ まことのいのちは ただ主にあり

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン